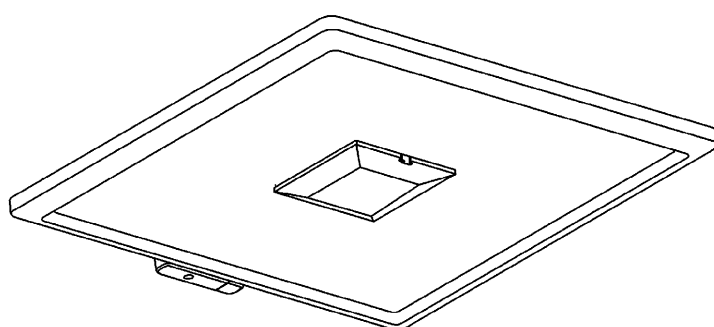


東芝LED照明器具取扱説明書
E-CORETM LEDシーリングライト

器具形名	
～8畳	LEDH94006Y-LCTS
～12畳	LEDH95006Y-LCTS

<商品概要>

- LED調光・調色機能
- 楽エコセンサー機能
- リモコン
- プルスイッチレス機能



日本国内専用
Use only in Japan

お客様へ

- このたびは東芝LED照明器具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
- この商品を、安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- 本書は必ず保管してください。

工事店様へ

- この説明書は必ずお客様にお渡しください。



もくじ

安全上のご注意	2
付属品と各部のなまえ	3~4
器具の取り付けかた	5~8
器具の使いかた	9~12
器具のはずしかた	13
故障とアフターサービス	14~15

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。


- 照明器具について**
- 引掛シーリングボディが天井に工事されていればそのまま取り付けできる器具です。
 - 天井に引掛シーリングボディがついていない場合は電気工事店に取り付けを依頼してください。
 - 配線器具等の工事に関しては、電気工事の有資格者による施工が義務付けられています。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

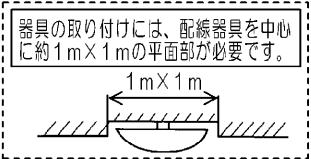
警告

●次のような場所には取り付けないでください。
器具は天井取り付け専用です。


指定以外の場所には器具が取り付けられない場合や、取り付いた場合でも火災・感電・落下してけがの原因となります。



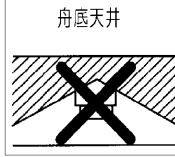
取り付け部のまわりに凸凹や極端な突出部のある天井




器具の取り付けには、配線器具を中心に約1m×1mの平面部が必要です。



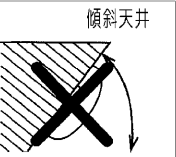
棧のあるサボチ天井



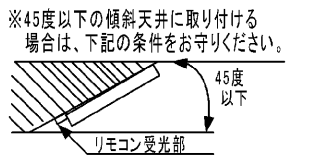
舟底天井



簡単にたわむ天井



傾斜天井



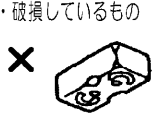
※45度以下の傾斜天井に取り付ける場合は、下記の条件をお守りください。

45度以下


リモコン受光部

●引掛シーリングボディに器具の荷重が加わらないように本体を木ねじで必ず固定してください。(詳しくはP6～8をご確認ください。)


●次のような配線器具(引掛シーリング)には取り付けないでください。
火災・感電・落下してけがの原因となります。次のような場合は配線器具の交換を電気店・工事店にご依頼ください。配線器具等の工事に関しては、電気工事の有資格者による施工が義務付けられています。



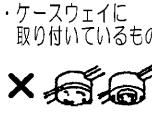
破損しているもの



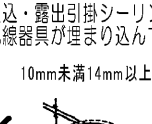
グラグラしたり、取り付けが不十分なもの



電源端子露出タイプ

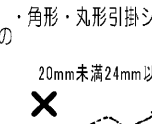


ケースウェイに取り付いているもの




埋込・露出引掛シーリング・配線器具が埋まり込んでいるもの

10mm未満14mm以上



角形・丸形引掛シーリング

20mm未満24mm以上




シーリングハンガー付きのもの


配線器具は必ず丈夫な天井面に確実に取り付けてください。


●器具を分解や改造したり、電池以外の部品を交換しないでください。

●調光器(当社商品名 コントルクスなど)による調光使用はできません。

●紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置かないでください。

 **改造** 火災・感電・落下してけがの原因となります。

 **調光器** 破損や発煙の原因になります。

 **可燃物** 火災の原因となります。

注意

●屋外や湿気の多い場所で使用しないでください。

●湿度の高い場所では使用しないでください。

●交流100V(±6V)以外の電圧で使用しないでください。定格電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。

●天井の材質や構造によっては、天井面が変色する場合があります。

●安全上、LED光源を直視しないでください。目の痛みの原因となります。

●LED光源は器具組み込みの為、交換できません。

●LED光源にはバラツキがあるため、同一形名商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

●照射距離が近い場合や照射面等によって光ムラが発生することがありますがご了承ください。


●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による。)

●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

●1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および3年に1回は工事店等の専門家による点検を実施してください。
(「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。)

●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

●点灯中及び消灯直後は、器具にさわらないでください。

 **接触禁止** 高温になっています。やけどの原因となります。

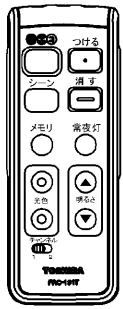
2

0032535C

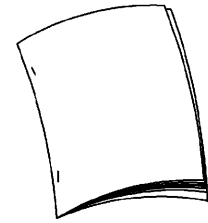
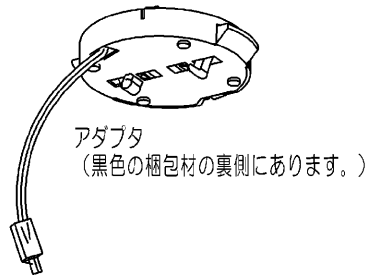
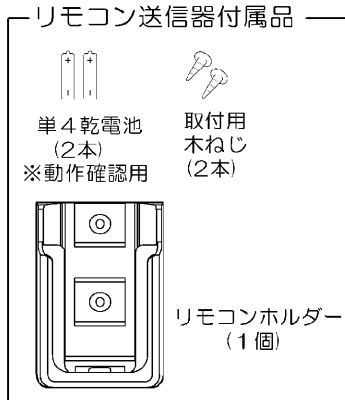
LEDH95006Y-LCTS (2 / 15)

■各部のなまえ

付属品

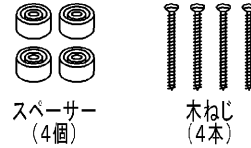


リモコン送信器
FRC-191T



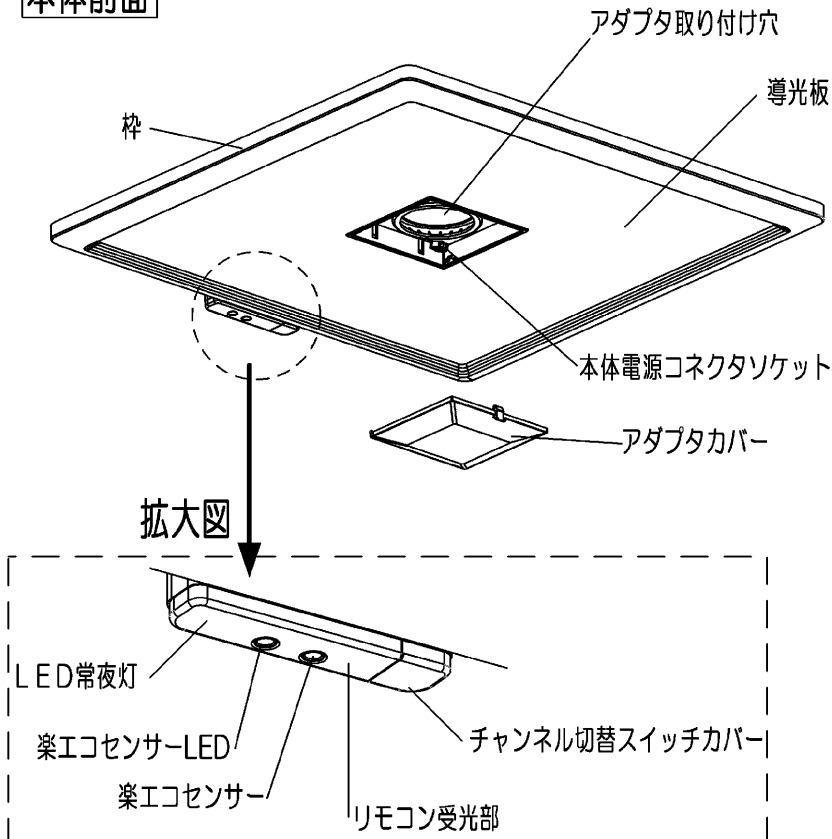
取扱説明書
(本紙)

スペーサー・木ねじセット



器具本体

本体前面



リモコン送信器

リモコン送信器：FRC-191T

このリモコン送信器は「東芝LED照明器具」専用です。
他の機器にはご使用できません。

■リモコンの概要

◎全光、調光（明るさ：約1%～100%、
光色：電球色～昼光色）、常夜灯（明るさ 6段階）
消灯の切り替えがリモコン送信器で操作できます。
◎お好みの明るさ・光色をシーン登録できます。

《シーン》ボタン

シーンにメモリした光色（調光）で点灯します。

《メモリ》ボタン

お好みの明るさ・光色（調光状態）をメモリするときに使用します。

《光色》ボタン

光色が変わります。**ブルー**（上部）ボタンで光色は昼光色側へ、
オレンジ（下部）ボタンで光色は電球色側へ変わります。

《チャンネル切替》スイッチ

操作する器具のチャンネルを選択します。

LED送信部

器具操作の信号がでます。

《つける》ボタン

全光点灯します。
（消灯時からは約3秒でフェード点灯します。）

《消す》ボタン

フェード消灯します。
（全光時からは約3秒でフェード消灯します。）

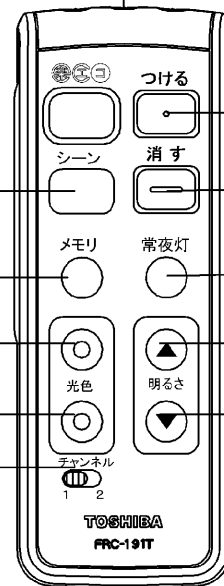
《常夜灯》ボタン

常夜灯（LED）点灯します。

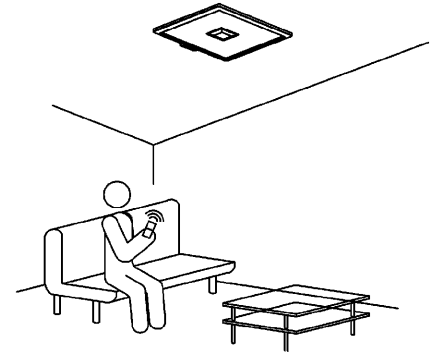
《明るさ▲▼》ボタン

明るさが変わります。
・全般照明：100%～約1%（昼白色時）
長押しすると連続的に調整できます。
・常夜灯：6段階の明るさの調整ができます。

注）常夜灯が点灯していない状態では
操作できません。



注意 リモコン本体の前面には保護シート（透明）が貼ってあります。



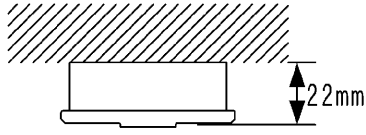
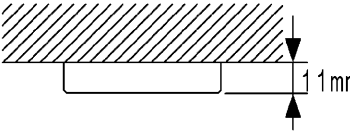


■ 器具の取り付けかた

1. 器具取り付け前の準備

安全のため電源を切ってから行ってください。

1.1 天井についている引掛シーリングボディ確認してください

天井に下図のような引掛シーリングボディがついている場合、取り付けができます。

JIS C8310シーリングローセットに記載の引掛シーリングボディに適用できます。	
天井からの出しろが22mmの引掛シーリングボディの場合	天井からの出しろが11mmの引掛シーリングボディの場合
	
角形・丸形引掛シーリングボディ	埋込引掛シーリングボディ
	

⚠ 警告 落下・感電・火災のおそれあり。

- 器具本体は確実に取り付けてください。取り付けが不完全ですと落下してけがの原因となります。

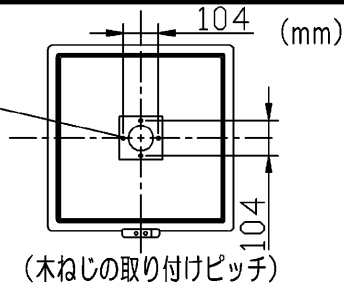
⚠ ご注意

左図以外の引掛シーリングボディの場合、または、引掛シーリングボディが設置されていない場合は取り付けできません。販売店（工事店）にご相談ください。

1.2 木ねじの取り付けについて

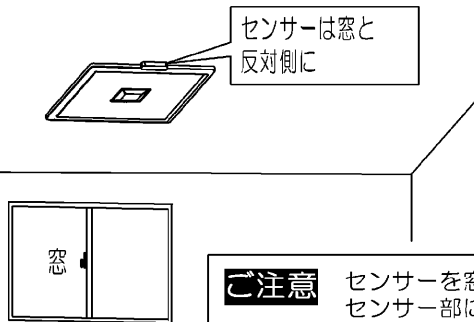
木ねじは必ず野縁等、天井面の強度のあるところに取り付けてください。

木ねじ取り付け位置



1.3 器具の設置場所について

楽エコセンサーの位置が窓から反対側にくるように照明器具を取り付けてください。

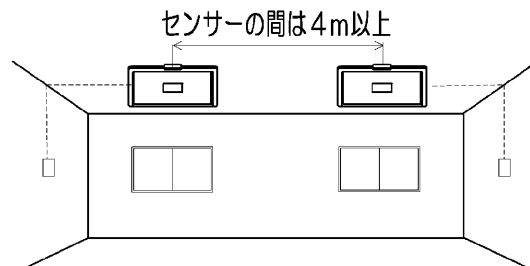


⚠ ご注意 センサーを窓側に向けないでください。センサー部に外光が直接照射されると、設定よりも暗くなる場合があります。

照明器具を複数設置する場合

4m以上離して取り付けてください。

2台を4m以内で設置した場合は互いの明るさを検知して、正常に動作しない場合があります。



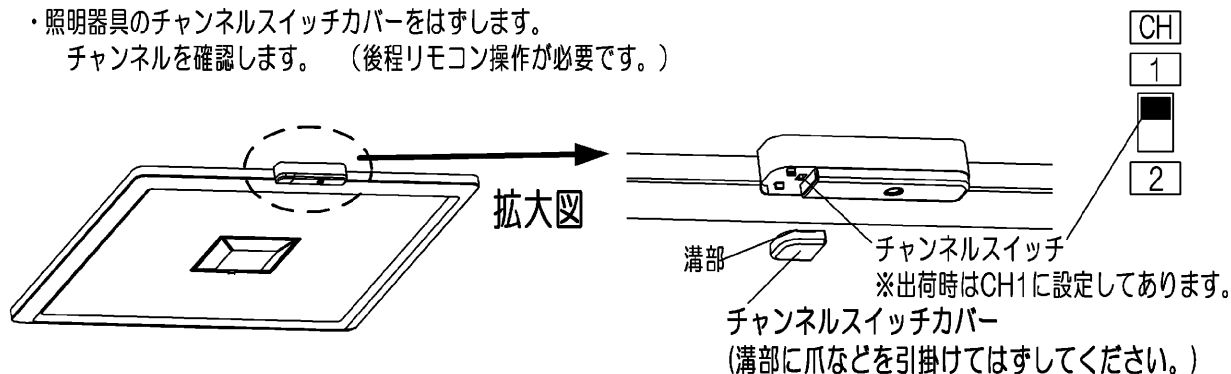
1. 器具取り付け前の準備つづき

1.4 チャンネルの合わせかた

2台の照明器具の操作が1つのリモコン送信器で行えます。

それぞれの照明器具のチャンネルをCH1・CH2と機別に設定した場合、リモコン送信器のチャンネルと同じチャンネルの照明器具のみ動作します。

- ・照明器具のチャンネルスイッチカバーをはずします。
チャンネルを確認します。（後程リモコン操作が必要です。）

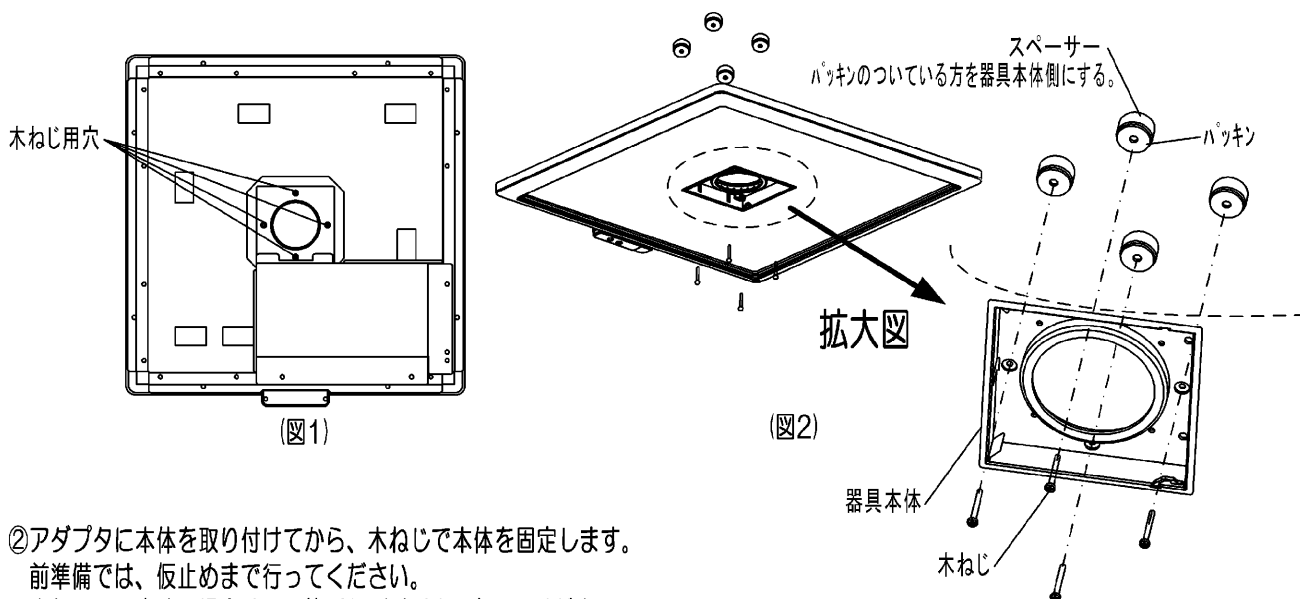


1.5 取り付けの補強として、木ねじを使用する場合。

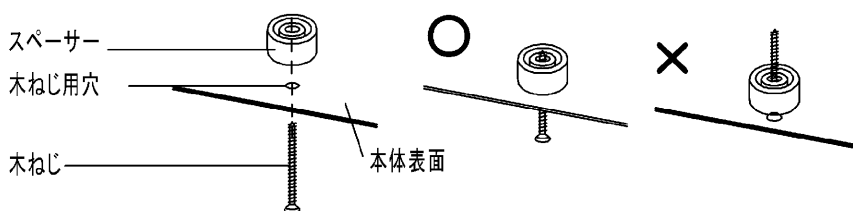
木ねじで固定する場合は、スペーサ(4個)と木ねじ(4本)を使用します。

- ①スペーサーを木ねじで仮止めします。

このとき、本体木ねじ用穴に貼り付けられているパッキンを木ねじで突き破り、裏からスペーサーで仮止めしてください(図1、図2)
木ねじの先端がスペーサーから少しでる程度で仮止めしてください。



- ②アダプタに本体を取り付けてから、木ねじで本体を固定します。
前準備では、仮止めまで行ってください。
木ねじで固定する場合は、4箇所(4本とも)固定してください。



2. 器具取り付けかた

2.1 安全のため電源を切ってから行ってください

2.2 天井の引掛シーリングボディにアダプタを取り付けてください

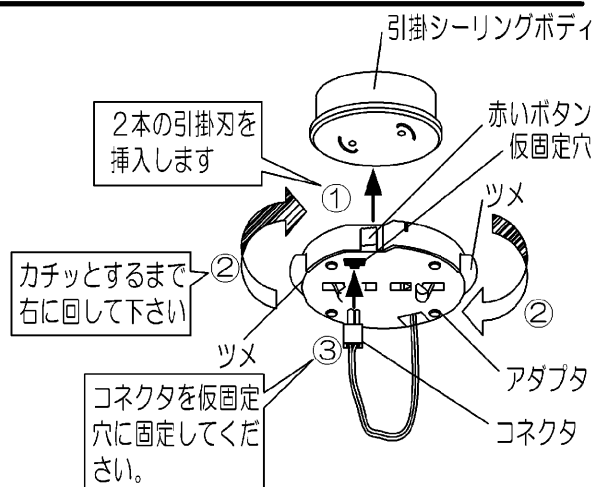
- ①引掛シーリングボディへアダプタの二本の引掛刃を挿入します。
- ②“カチッ”と音がするまで右に回します。
- ③コネクタを仮固定穴に挿入します。

ご注意

- アダプタは、必ず専用（同梱）のものを使用してください。専用のもの以外を使用すると破損する恐れがあります。
- アダプタ取り付けの際、ツメ部を持たないでください。ツメ部を持つと引掛シーリングボディにアダプタは取り付けません。

⚠ 注意

赤いボタンを押さずに左に回し、はずれないことを確認してください。アダプタの取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因となります。



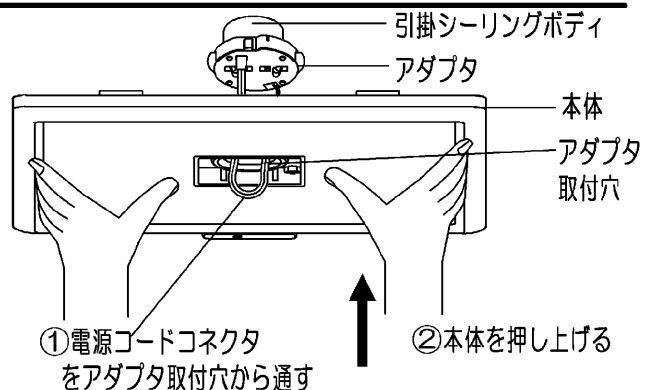
2.3 本体を押し上げて取り付けます

- ①本体器具中央の穴にアダプタの位置を合わせてください。アダプタの電源コードコネクタを穴から通してください。
- ②「カチッ」と音がするまで本体を押し上げます。



器具が重いので、必ず本体は両手で支えるようにして押し上げてください。

- ③本体取り付け後コネクタを仮固定穴からはずしてください。

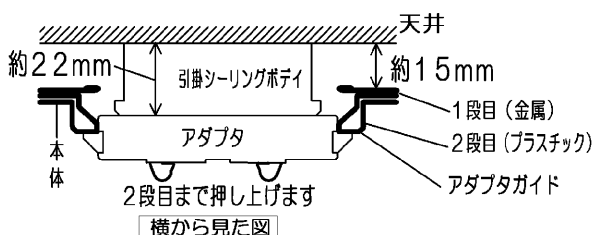
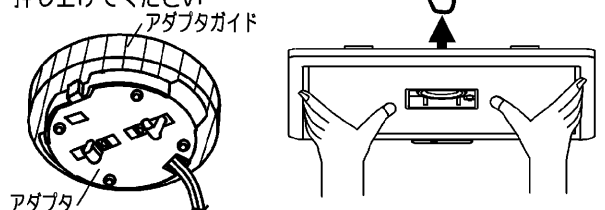


天井からの出しろが22mmの引掛シーリングボディの場合

角形・丸形引掛シーリングボディ



カチッ、カチッと2回音がするまで押し上げてください



器具本体をアダプタのツメが両方見えるまで2段階押し上げてプラスチックの段に取り付けてください。

※天井面と本体の間に約15mmの隙間が開きます。

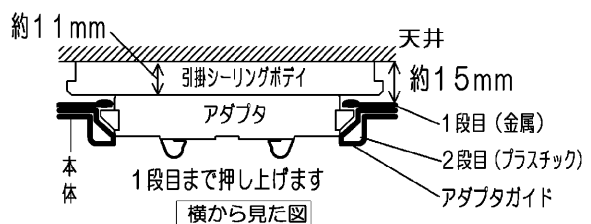
※器具本体がガタガタしたり、簡単に回転する場合は、正しく取り付けられていません。再度器具の取り付けを行ってください。

天井からの出しろが11mm引掛シーリングボディの場合

埋込引掛シーリングボディ



カチッと1回音がするまで押し上げてください

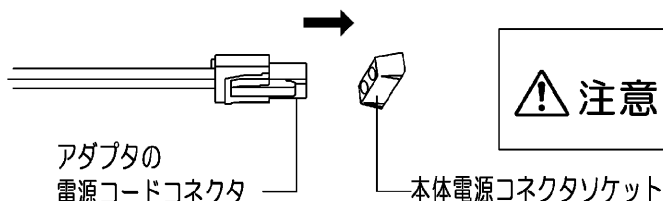
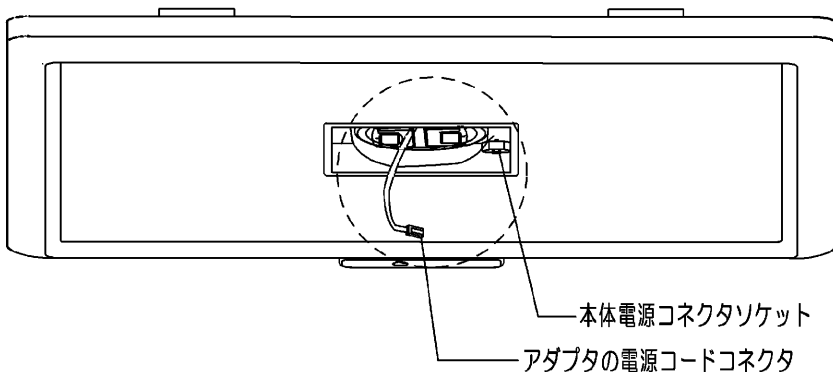


器具本体を1段階押し上げてアダプタのツメを金属の段に取り付けてください。
※アダプタのツメはアダプタガイドの中にあります。

2. 器具取り付けかたのつづき

2.4 コネクタを接続してください

アダプタ電源コードのコネクタを本体電源コネクタソケットに確実に差し込みます。

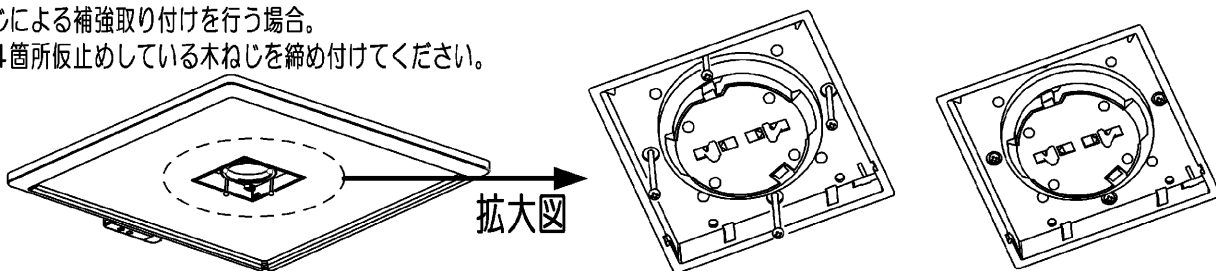


注意

- 抜けないことを確認してください。
- コネクタを接続したあとに本体を回転させないでください。コネクタがはずれて、発熱・火災の原因となります。

2.5 木ねじで器具を固定してください。(木ねじ補強する場合)

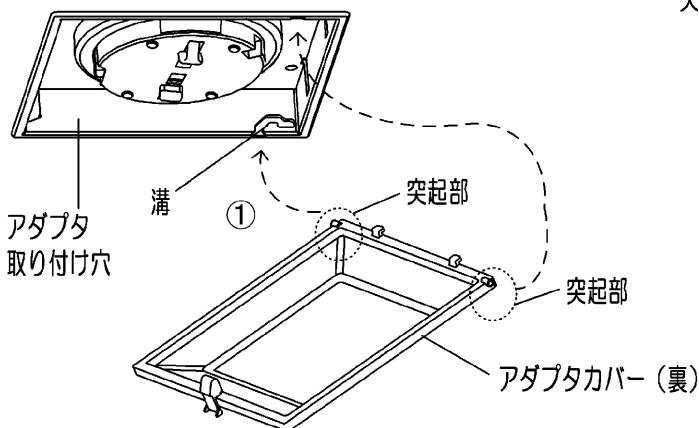
木ねじによる補強取り付けを行う場合。
図の4箇所仮止めしている木ねじを締め付けてください。



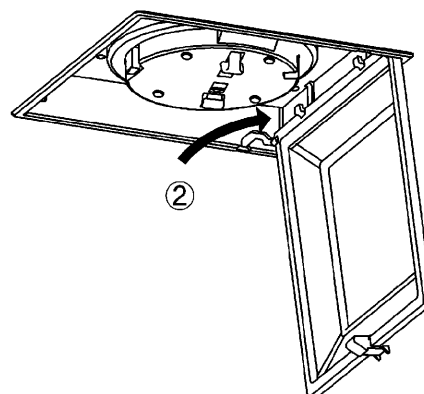
※奥までしっかりと止めてください。

2.6 アダプタカバーを取り付けてください

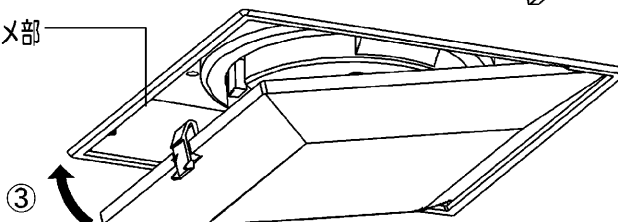
① アダプタカバー両端の突起部を
アダプタ取り付け穴の2つの溝に合わせます。



② アダプタカバー両端の突起部を溝に沿って、
矢印の方向に穴の奥まで入れます。



③ アダプタカバーを押し上げてツメ部を本体にはめて、
アダプタカバーを確実に取り付けます。

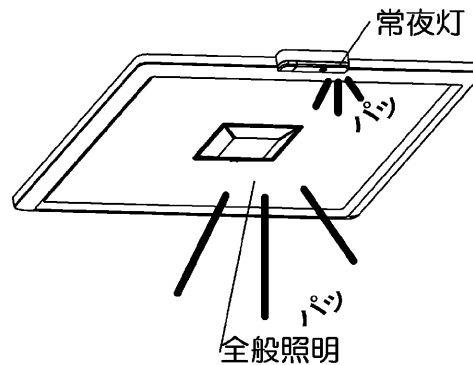


■ 器具の使いかた

1. 基本操作

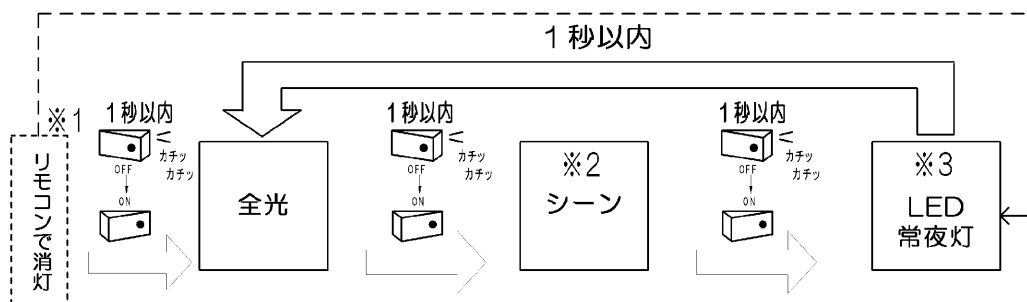
1.1 壁スイッチをONにします

- ・ 全般照明または常夜灯が点灯します。
(購入した初期の状態では常夜灯が点灯します。)



2. 壁スイッチの操作(プルスイッチレス機能)

壁スイッチの操作によって、点灯状態を切り替えることができます。器具本体内蔵のマイコンが、1秒以内の電源遮断を感知すると、次の点灯状態へ切り替わる「スイッチング機能」をはたらかせます。



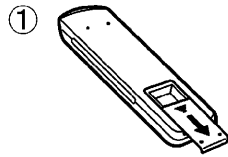
- ※1 壁スイッチをOFFする前にリモコン操作で器具を消灯状態にしておいた場合は、壁スイッチで再びONにすると常夜灯点灯になります。(---->)
- ※2 設定した明るさで点灯します。
出荷時は約10%調光・昼白色で点灯します。専用リモコン送信器で、お好みの明るさに設定ができます。
- ※3 プルスイッチレス機能により、壁スイッチで点灯を切り替えて常夜灯点灯にした際は、常夜灯の明るさがリモコンで調光した明るさとなります。
- ※4 壁スイッチをOFFして、1.5秒以上後に再度壁スイッチをONすると消灯前の照明器具の点灯状態で点灯します。消灯前が全光の場合は全光、シーンの場合はシーン、LED常夜灯の場合は調光状態の常夜灯になります。

ご注意 1個の壁スイッチで2台以上の器具を操作することはおやめください。同時に切り替わらない場合があります。

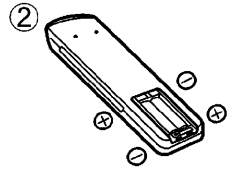
3. リモコンの操作

3.1 リモコン送信器への乾電池の入れかた

①裏面のカバーを軽く押さえながら手前に引いてください。



②単4乾電池を表示に合わせて極性+をまちがえないように入れて、カバーを閉めてください。



注) ・乾電池交換の際は必ず同時に2本とも交換してください。動作不良の原因となります。
・長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は、電池をはずしておいてください。液もれなどでリモコン送信器をいためる原因となります。

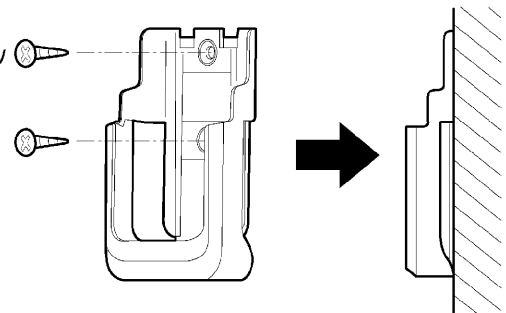
3.2 リモコンホルダーのご使用方法

●リモコン送信器の紛失を防止するためリモコンホルダーが同梱されています。壁面に取り付けご利用ください。

ご注意

●リモコンを操作する際は、ホルダーから送信器をはずして器具に向けてください。

付属の木ねじでリモコンホルダーを確実に固定してください。



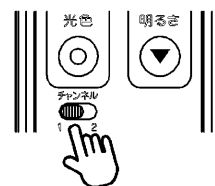
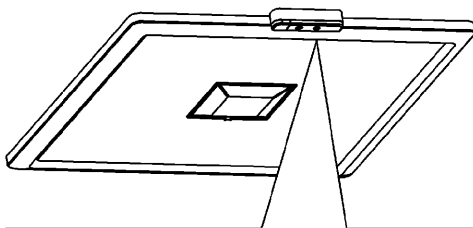
3.3 チャンネルの合わせかた

2台の照明器具の操作が1つのリモコン送信器で行えます。

それぞれの照明器具のチャンネルをCH1・CH2と機別に設定した場合、リモコン送信器のチャンネルと同じチャンネルの照明器具のみ動作します。

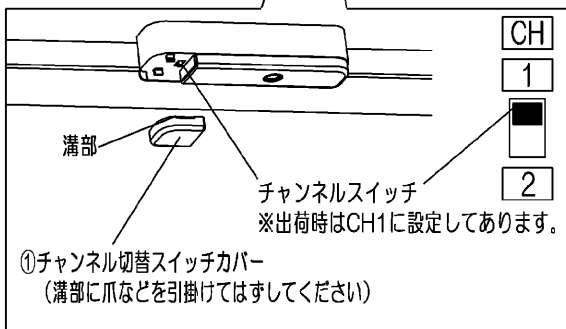
①照明器具のチャンネル切替スイッチカバーをはずし、チャンネルを確認します。

②リモコン送信器のチャンネルを照明器具と合わせます。



FRC-191T

《チャンネル切替》スイッチを切り替えたいチャンネルに合わせてください。



①チャンネル切替スイッチカバー (溝部に爪などを引掛けてははずしてください)

ご注意 照明器具のチャンネルとリモコン送信器のチャンネルを同じチャンネルに合わせてください。チャンネルが合っていないと操作できません。

3.リモコンの操作 つづき

3.4 明るさと色(光色)の調節

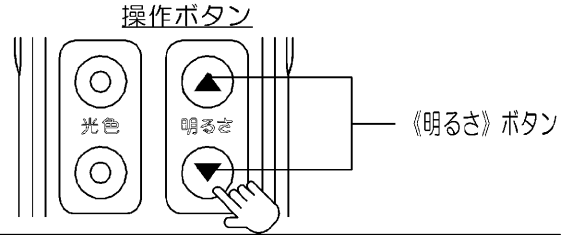
●明るさの調節

白色LEDと電球色LEDの明るさの組み合わせにより、お好みに合わせて、明るさと光色を調整できます。照明、常夜灯それぞれ調光することができます。

- **照明** (明るさを約1%~100%まで調光することができます。)

点灯している状態で、《明るさ▲▼》ボタンを押します。

- ・1回押すと、一段階ずつ明るくなります。
- ・長押しすると、連続して調光します。



- **常夜灯** (明るさを6段階まで調光することができます。)

LED常夜灯が点灯している状態で、《明るさ▲▼》ボタンを押します。

- ・1回押すと、一段階ずつ明るくなります。
- ・LED常夜灯の明るさはメモリされます。

- ・明るさ変化の段階は光色によって異なります。(下図参照)
- ・明るさが上限・下限の場合は、照明器具がピピッとします。

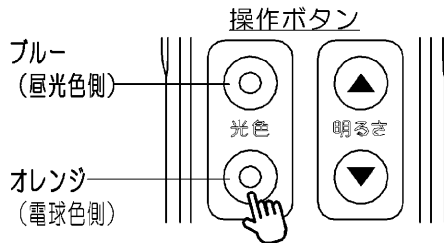
●色の調節

- **昼光色にする場合**

《光色》ボタン(ブルー)を押します。
1回押すと、一段階ずつ昼光色に近づきます。

- **電球色にする場合**

《光色》ボタン(オレンジ)を押します。
1回押すと、一段階ずつ電球色に近づきます。



色の变化の段階は、明るさによって異なります。(下図参照)

- ・長押しすると、連続的に変化します。
- ・色上限の場合は、照明器具がピピッとします。

注意 LED常夜灯は光色の調整はできません。

光色と明るさの関係

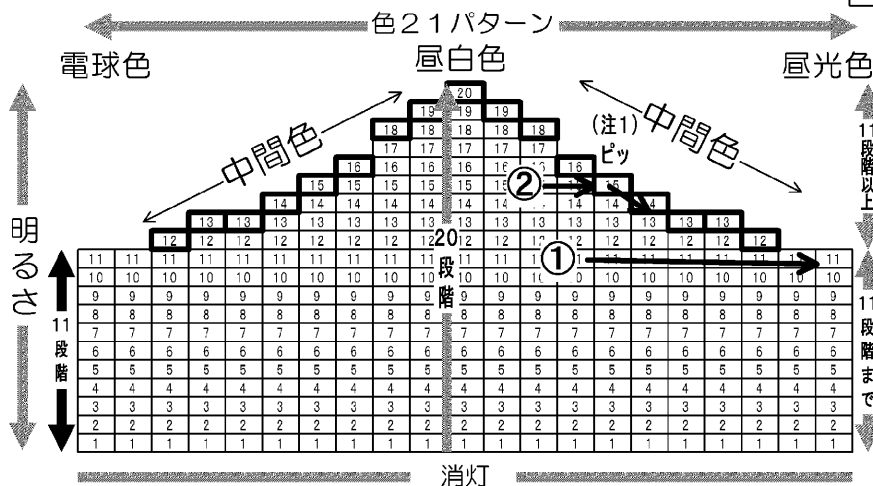
- 明るさの段階は、点灯している色の状態によって異なります。

- ・全光時 約1%~100%(20段階)
- ・白色時 約1%~約50%(11段階)
- ・電球時 約1%~約50%(11段階)
- ・中間色 (11段階~19段階)

- ボタンを長押しして、連続的に色を変化させる場合

- ①明るさ11段階より暗い場合：明るさ一定で、色を変化させます。
- ②明るさ11段階より明るい場合：明るさ一定可能範囲までは、色が連続で変化します。

※明るさが変わる場合は、いったん本体がピピッとって色の変化がとまります。



色が上限の明るさの状態では、それ以上に色を変化(図中：注1)させると、明るさも同時に変化します。

②明るさ上限(11段階以上)では色の向きによっては、明るさが減少します。

①明るさ11段階までは、色を変えても明るさ一定です。

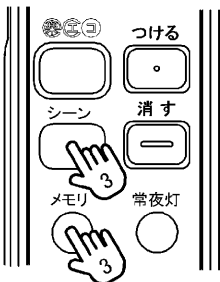
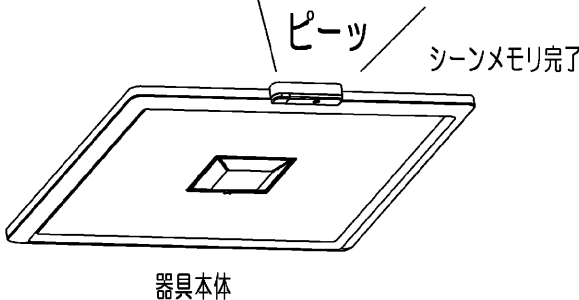
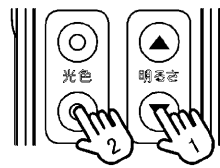
3. リモコンの操作 つづき

3.5 お好みの明るさ・光色をシーンにメモリする(調光状態を記憶する)

よく使う明るさ・光色(調光)をメモリすることができます。

1. 《明るさ▲▼》ボタンでお好みの明るさに調光します。
2. 《光色》ボタンでお好みの光色にします。
3. 《メモリ》ボタンを押しながら、《シーン》ボタンを同時に押します。ピーッと鳴って器具本体にメモリされます。

操作ボタン



・シーンにメモリした明るさを変更する場合は再度1~3の手順を繰り返してください。(上書きされます)

照明器具に向けて操作してください。

工場出荷時のシーンの設定は「約10%・昼白色」です。

器具本体

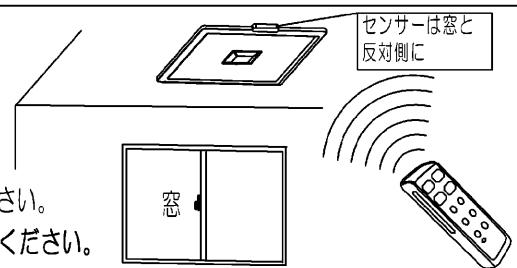
3.6 楽エコセンサー

照度センサーが、外光や他の照明器具などによる部屋の明るさを検知して、自動で明るさをコントロールします。余分な明るさを抑えるので省エネです、楽エコセンサーの利用には、初めに環境設定が必要です。環境設定がされていない場合には、楽エコセンサーによる制御は行われません。全光点灯いたします。

■ 設定方法

設定時の注意

- 照明器具から約2.5m離れて行ってください。楽エコセンサーに影響が無いようにします。
- 夜間などの外光が入らない環境で行ってください。ほかの光が影響しない状態で、お好みの明るさにした状態で行ってください。
- 部屋の中にある他の照明は、常時点灯させている場合を除いて消灯させてください。
- センサーの向きは窓と反対側にしてください。ほかの照明の光の影響で正常な設定ができない場合があります。

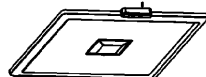


1. 楽エコセンサーの基準となる明るさを登録します。ほかの光が影響しない状態で、お好みの明るさにしてください。

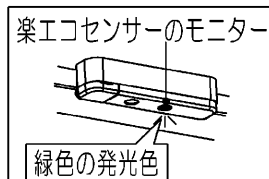
2. リモコンの《メモリ》ボタンを押しながら《楽エコ》ボタンを同時に押してください。センサー検知範囲内の室内の明るさが登録されます。

センサーが検知範囲に入る光を検知し、照明器具が自動で明るさをコントロールします。

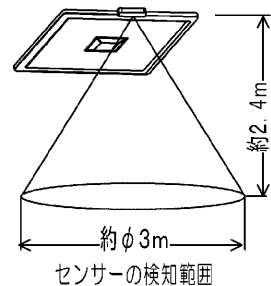
3. 《楽エコ》ボタンを押してください。楽エコセンサー動作し、楽エコセンサーのモニター部のLEDが緑色に点灯します。セード透過部から緑色のLEDが確認できます。



楽エコ点灯中は緑色のLEDが点灯します。



ご注意 リモコンで《消灯》ボタンにより消灯した場合には、楽エコセンサーは復帰しません。再度、使用の場合は《楽エコ》ボタンを押してください。



■ 器具のはずしかた

1. 器具のはずしかた

1.1 安全のため電源（壁スイッチOFF）を切ってから行ってください

1.2 アダプタカバーを取りはずしてください

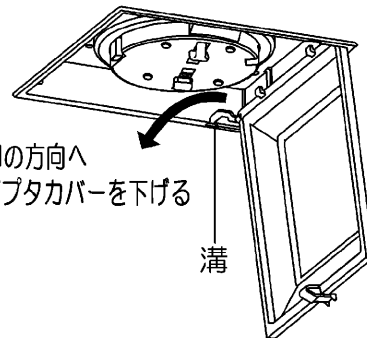
- ①アダプタカバーのツメ部を器具中央部へ軽く押しながらアダプタカバーを下げてください。

①ツメ部を軽く押す



- ②本体の穴に溝に引掛けているアダプタカバーの突起部を矢印の方向に下げてアダプタカバーを取りはずしてください。

②矢印の方向へアダプタカバーを下げる



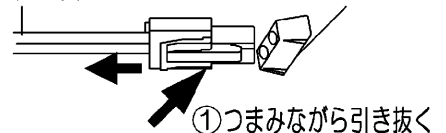
1.3 本体をはずしてください

木ねじにて本体を天井に補強取付けしている場合は、必ず木ねじをすべて外してから以下作業を行ってください。木ねじの取付箇所詳細につきましては、P6、8を参照してください。

- ①アダプタの電源コードコネクタを本体電源コネクタソケットからはずします。コネクタをつまみながら引き抜いてください。

アダプタの
電源コードコネクタ

本体電源
コネクタソケット



- ②両手で本体を支えながらアダプターの解除レバーを外側に開いて、本体をはずしてください。

②レバーを外側に開く

本体を両手で
押さえながら



注意

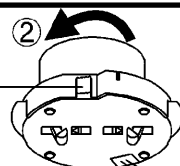
本体は必ず両手でしっかり支えながら、はずしてください。本体を押さえないで本体をはずすと、本体が落下してけがの原因となります。

1.4 アダプタをはずしてください

- ①赤いロックボタンを押しながら

- ②左方向に回してください。

- ①赤いロックボタン

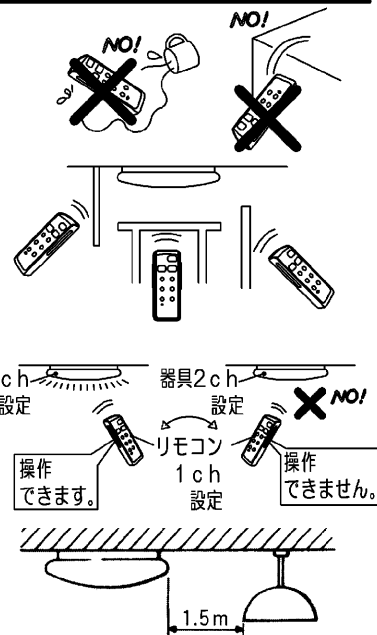


赤いボタンを押したまま左に回してください。

■故障とアフターサービス

リモコン使用上のご注意

- リモコン送信器は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどにはご使用できません。
- リモコン送信器は、照明器具の壁スイッチがONのときのみ切り替えできます。
- リモコン送信器で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約1W以下の電力を消費します。
長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電に心がけてください。
- リモコン送信器は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。
- リモコン送信器の周囲に図のようなしゃへい物がある場合は、受信器が動作しない場合がありますので、その際は、しゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。
- 天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
- リモコン送信器の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。
- 照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- 点灯直後、全光時や調光時、リモコンで切り替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切り替えてください。
- リモコンで消灯した場合、停電が発生した際プルスイッチレス機能が働き全光点灯などになることがあります。
- 1つのリモコン送信器はチャンネルに合わせた信号しか送信できません。
2台の照明器具を1つのリモコン送信器で操作する場合は、照明器具のチャンネルとリモコン送信器のチャンネルを合わせて操作してください。
- インバーター照明器具が取り付けられた部屋でのご使用はインバーター器具から1.5m以上離して取り付けてください。
- 冬場など周囲温度が低い時、点灯直後、リモコン送信器での連続調光『明るさ▲▼』ボタン・『光色』ボタンでの長押し操作がききにくい場合があります。その場合は、長押しせず、1回ずつ押しながら調光してください。



故障ではありません

- 冬場など、周囲温度が低い時、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮がおこり、“ピシ・ピシ”、“ポツ・ポツ”という摩擦音を生じることがあります。
- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されると雑音が入る場合があります。雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。
- 器具交換の目安は、使用環境により異なりますが約8～10年です。
- 電源の停電などで明るさが切り替わったり、切り替えができなくなったりする場合があります。その場合は、壁スイッチ等で1度消灯すると正常動作に戻ります。
- 周囲の温度が高くなると、照明器具保護のため明るさを自動的に下げます。
- リモコンの信号を受信すると、常夜灯がチラツク場合があります。
- 調光時、器具発光面端部に明暗ができることがあります。

故障かな?と思ったら

現象	考えられる要因	処置
リモコン送信器で照明器具が操作できない。	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	照明器具とリモコン送信器のチャンネルが合っていない。	チャンネルを合わせてください。
	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。

仕様

器具	定格電源電圧	電源周波数	消費電力(器具)	待機電力	光色
~8畳用	AC100V	50/60Hz共用	60W	0.5W	リモコン操作により、電球色~昼白色~昼光色に設定できます。
~12畳用	AC100V	50/60Hz共用	92W	0.5W	

■お客様メモ

購入年月日 年 月 日

■保証とアフターサービス

持込修理

東芝LEDシーリングライト保証書	
形名	
★お名前	ふりがな 様
★お客様	ご住所
電話	市外 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 市内 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 番号 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/>
保証期間	本 体 5 年 ★お買い上げ日 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日から
★販売店	住所・店名 <input type="text"/> 電話 <input type="text"/>
<p>東芝ライテック株式会社 住宅照明部 〒140-8660 東京都品川区南品川2-2-13 電話(03)5479-1058</p> <p>本書は、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。 保証期間中に故障が発生した時には、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。 ★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。</p> <p>個人情報の取扱いについて 1. 本書にご記入いただいた住所等の情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。 2. 修理のために、当社から修理を委託している保守会社などに必要なお客様の情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規定を遵守させていただきますので、ご了承ください。</p> <p style="text-align: right;">(右記をご覧ください)</p>	

保証について

- 保証期間は、商品お買い上げ日より5年間です。(本体、LED器具の点灯装置) 但し、セード、グローブ、リモコン送信器は1年間です。
- 電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理をさせていただきます。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中は、保証書を添えてお買い上げの販売店までご持参ください。
- 保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または東芝ライテック照明ご相談センターにお問い合わせください。
- その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷
- 持ち込み修理の対象商品を直接お客様ご相談窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。

部品について

- 修理のため取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 補修用性能部品の保有期間
弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。補修用性能部品とは、その部品の機能を維持するために必要な部品です。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料)

受付時間：365日 9:00~20:00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料：有料)

FAX 0570-000-661 (通信料：有料)

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ライテック株式会社 住宅照明部 〒140-8660 東京都品川区南品川2-2-13 (南品川JNビル) TEL (03) 5479-1058

FAX (03) 5479-3393